パロマ
ガス瞬間給湯器

PH-16SXT　PH-16SXTL
PH-20SXT　PH-20SXTL
PH-16LXT　PH-16LXTL
PH-20LXT　PH-20LXTL
PH-16QLXTS　PH-16QLXTSL
PH-20QLXTS　PH-20QLXTSL

（末尾にLが付くタイプはBL認定部品です。）

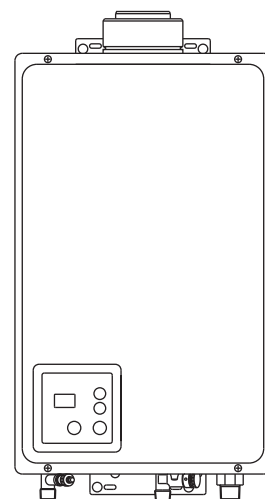
取扱説明書

このたびは、ガス瞬間給湯器をお買い上げいただきありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。

●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

●「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くの当社までお問い合せください。

保証書付

特定保守製品

この機器は消費生活用製品安全法で指定された「特定保守製品」ですので、所有者登録と法定点検が必要です。
詳しくは別冊の「安全点検制度に関するお願いちらし」をご覧ください。

もくじ

各部のなまえ

銘板・特定保守製品表示

型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者・特定製造事業者等名・設計標準使用期間・点検期間・問合せ連絡先等を表示しています。

給排気筒(給排気筒トップ)

燃焼用空気を吸い込み、燃焼排ガスを屋外に出します。

＊給排気筒トップ…排気筒の先端部分

本体表示

使用上の注意について表示しています。

操作部

スイッチの「入」「切」、湯温調節等を行います。

ガス栓

ガスの開閉を行います。

水抜き栓

凍結予防のため機器の水を抜くときにはずします。

電源プラグ

電気の供給を行います。

給水元栓

水道水の開閉を行います。

安全装置について

■PH-16SXTS, PH-20SXTS, PH-16SXTSL, PH-20SXTSL,PH-16QLXTS, PH-20QLXTS, PH-16QLXTSL, PH-20QLXTSLの機器には下記の安全装置が付いています。

不完全燃焼防止装置 … 万一の事故を防ぐために、給排気筒の外れなどの原因で機器が不完全燃焼するような状態になったときに燃焼が停止します。

各部のなまえ（リモコン）

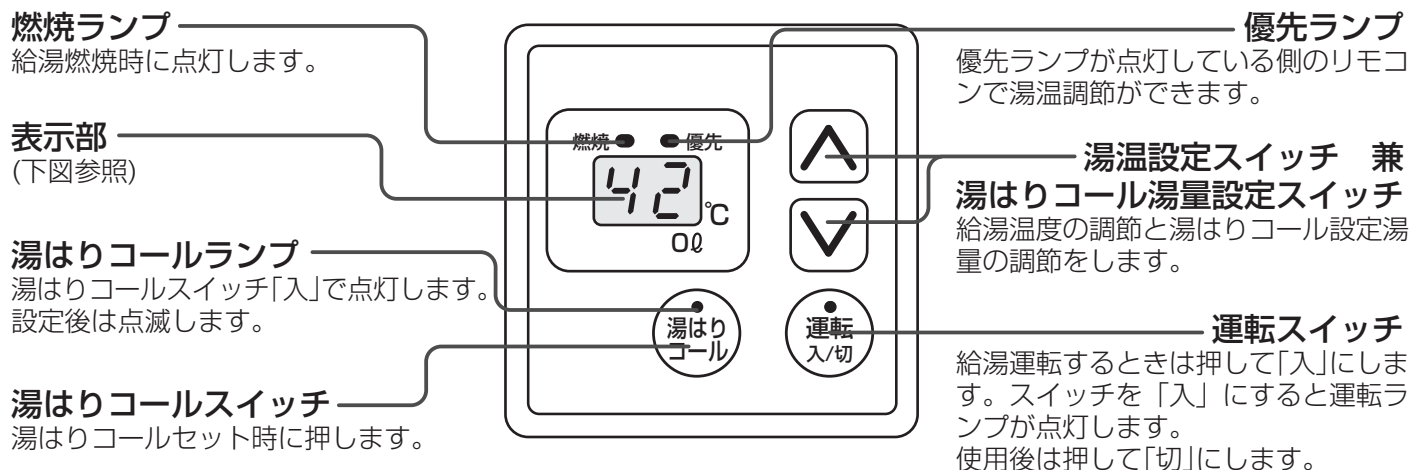
●リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

給湯リモコン　MCS-101

給湯リモコン　MCS-115V

リモコン表示部

各部のなまえ（別売リモコン）

給湯リモコン　MC-101,MC-117　…台所等に取り付けるリモコンです。

シャワーリモコン　SC-101,SC-117　…浴室内に取り付けるリモコンです。

リモコン表示部

給湯リモコン　MC-115V, MC-117V
　　　　　　　MC-115AD
ふろリモコン　FC -115V, FC-117V
　　　　　　　FC -115AD

‥‥給湯リモコンは台所等に取り付けるリモコンです。
ふろリモコンは浴室内に取り付けるリモコンです。

湯はりスイッチ・湯はりランプ
浴槽にお湯はりするときは押して「入」にします。
スイッチを「入」にすると湯はりランプが点灯し音声でガイドします。

呼び出しスイッチ・呼び出しランプ
（MC-115V, FC-115V,
MC-117V, FC-117Vの場合）
スイッチを押すと、ブザーが鳴って相手を呼び出します。
（MC-115AD, FC-115ADの場合）
通話をする際、押して話をします。
通話中は呼び出しランプが点灯します。
また、ふろリモコン（FC-115AD）でのみ2回連続で押すと、オーディオ接続機能が「入」になり、呼び出しランプが点滅します。

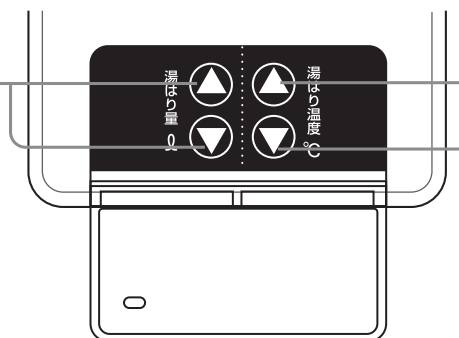
表示部
（下図参照）

給湯湯温調節スイッチ
給湯温度の調節をします。

給湯スイッチ・給湯ランプ
給湯操作をするときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると給湯ランプが点灯します。

オーディオジャック
（MC-115ADのみ）
ラジオ、CDプレーヤー等を接続します。

ふたが開いた状態

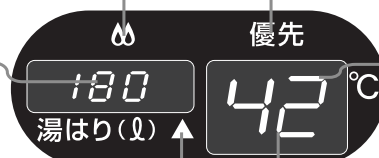
湯はり量設定スイッチ
湯はり量を調節します。

湯はり温度設定スイッチ
湯はり温度を調節します。

リモコン表示部

燃焼確認ランプ
燃焼中にランプが点灯します。

湯はり量表示
湯はり設定量を表示します。

表示
湯はり量を表示中に△が点灯します。

優先
180
湯はり（ℓ）▲
42
℃

優先表示
優先表示が点灯している側のリモコンで給湯湯温調節ができます。

エラーコード
機器が正常に作動しないときに切り替わります。

給湯設定温度表示
給湯温度のめやすが表示されます。
（お湯はり時は、湯はり温度のめやすを表示します。）

＊PH-16SXT, PH-20SXT, PH-16SXTL, PH-20SXTLの機器をご使用の場合は、別売リモコンMC-115V, FC-115V, MC-117V, FC-117V, MC-115AD, FC-115ADは取り付けできません。

必ずお守りください

【安全に正しくお使いいただくために】

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

 一般的な禁止
 火気禁止
 接触禁止
 分解禁止

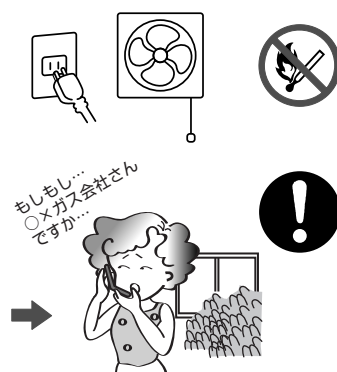
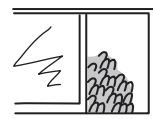
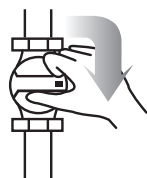
 発火注意
 感電注意
 高温注意

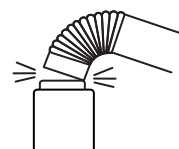
 必ず行う
 電源プラグを抜け
 アースを接続せよ

⚠危険

ガス漏れ時の使用厳禁

ガス漏れに気付いたときは、ガス事業者の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない
炎や火花で引火し火災のおそれがあります。

①すぐに使用を止め、ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる
②窓や戸を開けガスを外へ出す
③お近くのガス事業者まで連絡する

給排気筒（給排気筒トップ）が外れたりつまったり、ふさがっていないか点検する

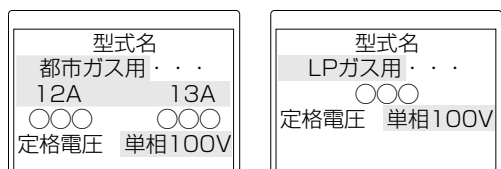
排ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり危険です。

⚠警告

機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および使用電源（電圧・周波数）の適合を確認する

表示のガス種および電源が一致しないと爆発着火でやけどをしたり、機器が故障したり、不完全燃焼防止装置が働く原因になります。特に転居した場合は必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認してください。

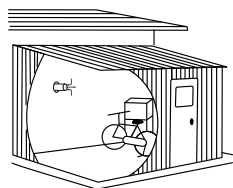
電源はAC100Vを使用する

＊わからない場合はお買い上げの販売店かお近くの当社までご相談ください。

（例）

機器の設置（および付帯工事）

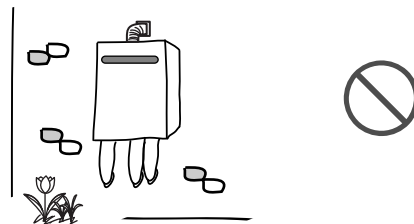
機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。

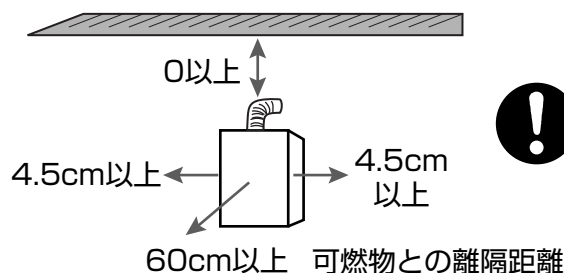
設置後、機器や排気口（給排気筒トップ）を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

ねじ接続

この機器の接続はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者に依頼してください。

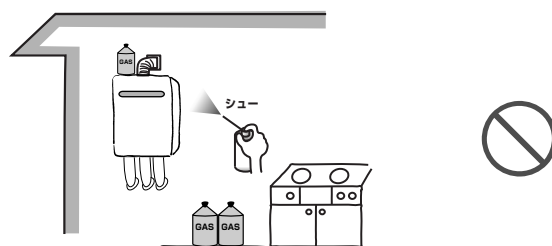
この機器は屋内用のため絶対に屋外に設置しない

風により炎が機器の外にあふれて火災のおそれがあります。また雨水の浸入や炎が風にあおられて故障の原因になります。

機器および給排気筒(トップを含む)の周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かない

火災の原因になります。

機器や給排気筒トップの周囲にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

機器や給排気口の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり使用したりしない

引火して火災、やけどのおそれがあります。

必ずお守りください

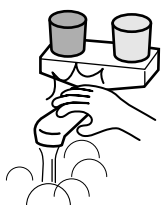
⚠警告

シャワーなどお湯を使う場合は、手のひらで温度を確かめて湯温が安定してから使用する

最初に熱いお湯が出ることがあるため、やけどのおそれがあります。

やけどの予防のために出初めのお湯は体にかけないない

お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用し給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器の故障の際には一瞬熱いお湯が出ることがあります。

給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるのでやけどに注意する

湯量を少なくするときはゆっくり、しぼりすぎないようにする

急に行ったり、しぼりすぎると熱いお湯が出ることがあります。また、消火することもあります。

湯温を低めに設定した場合の注意

水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。

熱いお湯を使用直後にぬるい温度に下げた場合、しばらく流してから使用する

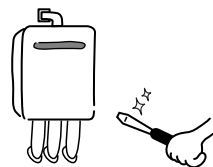
配管内の熱いお湯がでてしまうまですぐにぬるいお湯にはなりませんのでやけどのおそれがあります。

熱いお湯を使用後は湯温を「低温」に戻す

シャワー、給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

突然熱湯が出てやけどしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

分解禁止

お客さまご自身では絶対に工具を使用して、分解したり修理・改造は行わないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。

子供を浴室で遊ばせない浴槽に潜ったりしない

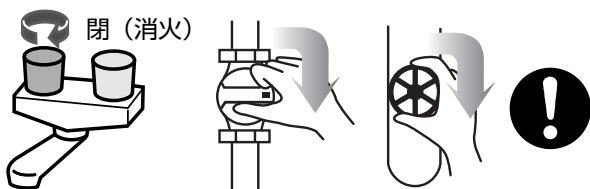
思わぬ事故につながることがあります。
＊特に小さなお子さまのいる家庭では注意が必要です。

⚠警告

異常時の処置

①使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
②「故障かな？と思ったら」に従い処置する。
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くの当社まで連絡する。

地震、火災などの緊急な場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓および給水元栓を閉じる。

＊再びお使いになる前に必ずお買い上げの販売店かお近くの当社まで点検を依頼してください。

機器本体やガスの接続口、給排気口などに乗らない

けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

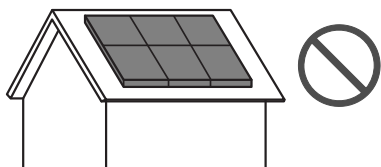
火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない

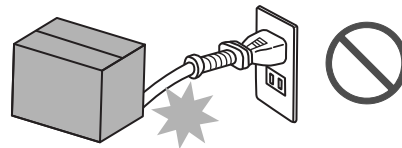
火災の原因になります。

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで給排気筒トップを覆う場合は機器を使用しない

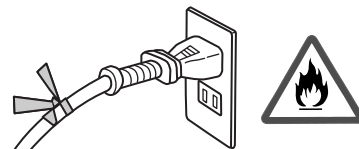
不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

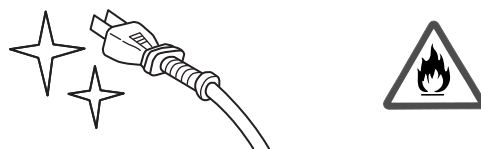
この機器をソーラーシステムに接続しない

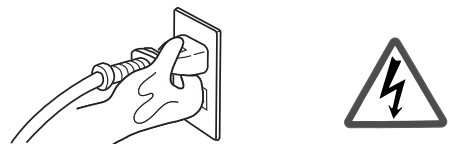
ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。

電気コードを加工したり無理な力を加えない

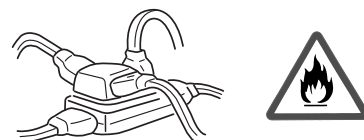
感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。

痛んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わない

電源プラグは根元まで完全に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。

コンセントや配線器具、たこ足配線などで定格を超える使いかたをしない

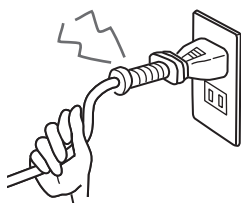
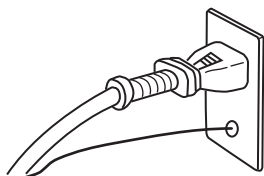
発熱による火災の原因となります。

必ずお守りください

⚠注意

給湯・シャワー以外の用途には使用しない

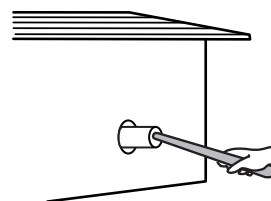
思わぬ事故の原因になることがあります。

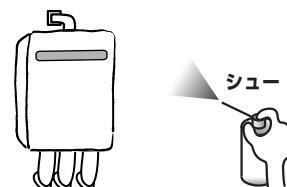
電源コードを引っぱって電源プラグを抜かない

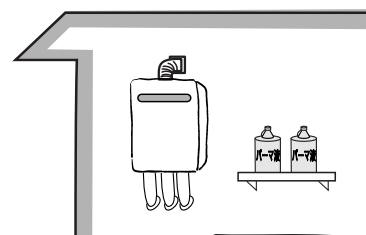
電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。

この機器はアースが必要なのでアースされていることを確認する

使用中や使用直後は機器本体、給排気筒（トップを含む）とその周辺は高温になっているので、操作部以外は手を触れない

高温になっておりますので、やけどのおそれがあります。

給排気筒トップに指や棒を入れない

故障やけがの原因となります。

機器と同室内でシリコンを含むスプレー（ヘアスプレー、静電気防止スプレーなど）を使用しない

電気部品の故障の原因になります。

機器と同室内で特殊薬品を使用したり、保管しない

気化した特殊薬品（パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素エチレン化合物、酸類など）が機器内に入り、故障や不完全燃焼防止装置が働く原因になります。

積雪や、屋根から落ちた雪により給排気筒トップがふさがれないように注意する。積雪時は給排気筒トップの点検、除雪を行う

ふさがれると排気が逆流して室内に漏れ、一酸化炭素中毒の原因になります。

おねがい

■家庭用製品

この製品は家庭用ですので業務用の用途で使用すると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

■リモコンを使用の場合の注意

●リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
●ふろリモコン、シャワーリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
●リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。

■電源について

お手入れの際、長期間使用しない場合および凍結予防のため水抜きを行う時以外は電源プラグを抜かないでください。

■飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水は飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水、調理用水としてお使いください。

■通水使用の禁止

運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水をだしたり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、寿命が短くなります。

■雷時の注意

雷が発生し始めたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
（またはブレーカーを落としてください。）
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷が止んだ後は、電源プラグを差し込んでください。

■井戸水、地下水、温泉水の使用禁止

水質などによっては機器の破損および水漏れの原因となります。その場合は、保証期間内でも修理は有料となります。

■停電・断水のときは

停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。
＊断水後は配管内に空気が入っているためすぐに運転すると空だきのおそれがあります。いったんガス栓を閉めて、リモコンを「切」にした状態で給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。

再通電後のリモコンの表示は、温度表示は前回使用時に設定の温度に、湯量表示は「180ℓ」になっています。

■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は、当社の純正部品以外は使わないでください。当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

■ガス事故防止

使用後はリモコンを「切」にして、ランプの消灯を確認してください。
長期間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

■排気口の周囲

排気口からの排ガスなどによって過熱されて困るもの（危険物、植物、ペット、プラスチック製のといなど）を置かないでください。

■特監法対象機器

この機器の設置および変更工事は、法律（特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律）に基づいて行い、工事完了後、器体（機器本体）に法定ステッカー（表示ラベル）を貼り付けることになっておりますので、確認してください。

必ずお守りください

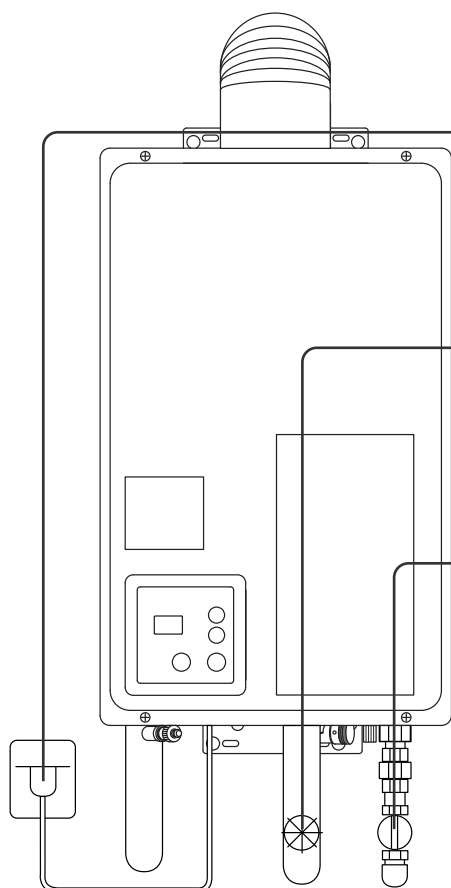
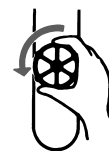
おねがい

■日常の点検とお手入れ

浴槽、洗面台もこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応し、青く変色することがあります。

また、ご使用前や日常の点検の際に次の項目をご確認ください。

①機器は屋内に設置してある。②機器は堅固に設置してある。③排気筒は屋外まで延長してある。
④給気が十分行える場所に設置してある。
⑤機器の排気口（給排気筒トップ）の近辺に窓（隣家の窓も含む）がない。
⑥油煙の多い場所に設置していない。⑦機器への配管にはガス栓、給水元栓が取り付けてある。
⑧換気扇などからの風が機器の給気に影響を与えない場所に設置してある。
⑨機器の周囲に可燃物がない。
　●洗濯物などの燃えやすいものがない。●棚のしたなど落下物がない。
⑩凍結予防のため、給水・給湯配管に保温材を巻く等の措置がしてある。
　また、水抜き栓は保温材から出ており水抜き操作できるようになっている。
⑪機器の排気口（給排気筒トップ）を波板などで囲んでいない。
＊以上の設置に関し、ご不明な場合は、施行業者までお問い合わせください。

準備と確認

＊電源（AC100V）を入れた直後（約20～30秒間）は安全のための初期動作確認を行っていますので運転しません。しばらく待ってから操作してください。

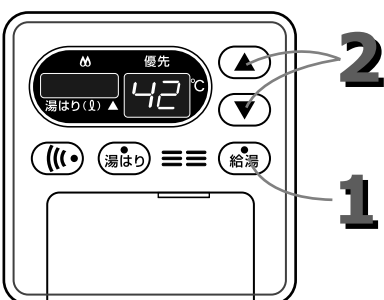
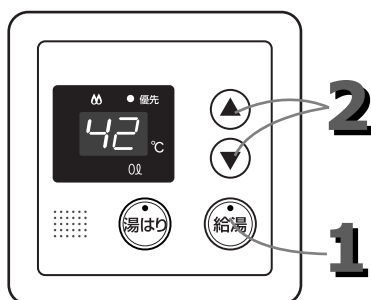
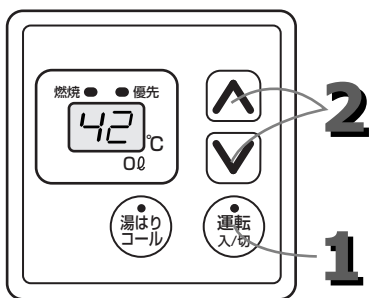
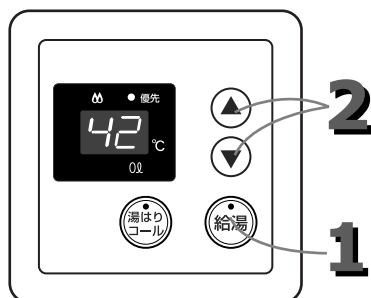
リモコンの機能について

リモコンの種類によってそれぞれ使える機能が違います。
下記の表を参考に、お使いのリモコンの機能を確認してください。

機能 / 対象リモコン	お湯を出す	湯はりについて		だれかと通話する	オーディオを聴く	だれかを呼び出す	操作内容を音声でおしらせする
		自動湯はり	湯はりコール				
MCS-101	○	−	○	×	×	×	×
MC-101, SC-101 MC-117, SC-117	○	−	○	×	×	×	×
MCS-115V	○	○	−	×	×	×	○
MC-115V, FC-115V MC-117V, FC-117V	○	○	−	×	×	この機能はMC-115V, FC-115VおよびMC-117V, FC-117Vのセットでのみ使用できます。 ○	○
MC-115AD FC-115AD	○	○	−	この機能はMC-115AD, FC-115ADのセットでのみ使用できます。 ○	この機能はMC-115AD, FC-115ADのセットでのみ使用できます。 ○	×	○

＊湯はりコール…給湯栓から出たお湯の量が設定湯量に達したときにブザーでお知らせする機能です。

お湯の出しかた

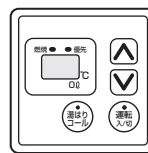
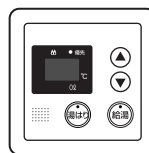
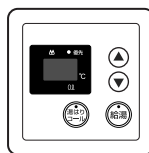
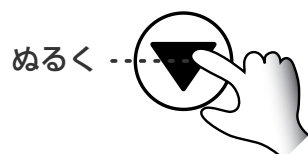
ここではMCS-101のリモコンを使って説明しています。

1 「給湯」（または「運転」）スイッチを押す

前回設定の温度

⚠警告

おふろでお湯を使うときは、必ずふろリモコン(シャワーリモコン)の給湯スイッチを押して優先にする
→優先にしないと給湯リモコンで勝手に温度を変えられてやけどのおそれがあります。

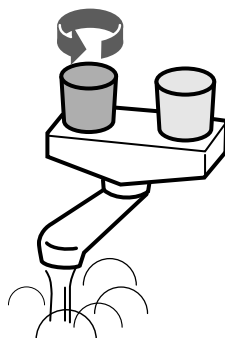
知っておいてね

●初めてお使いになる時などはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。（給湯栓の開閉操作を2～3回くり返してください。）
●給湯栓を絞りすぎると消火します。（給湯栓をもっと開けてご使用ください。）
●２箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
●お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、お湯の量が少なくなったり、給湯配管によっては、ほとんどお湯が出ないことがあります。
●リモコンを「切」にするときは、「給湯」スイッチを3秒以上押し続けるともう一方のリモコンも「切」となります。
●水温が高い場合は、リモコンの給湯温度よりも熱いお湯が出ることがあります。

温度を調節する

- 38℃～45℃までは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60℃と変わります。
- 設定を記憶します。

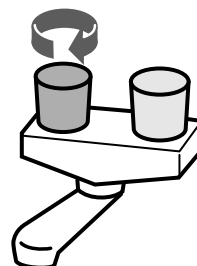
優先表示確認

調節後の温度

給湯栓を開ける

開く

燃焼確認ランプ点灯

給湯栓を閉める

閉める

燃焼確認ランプ消灯

温度のめやす

38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60

ややぬるめ　　適温　　ややあつめ　　あつい

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さ等）により必ずしも一致しません。表示の温度はめやすとしてください。

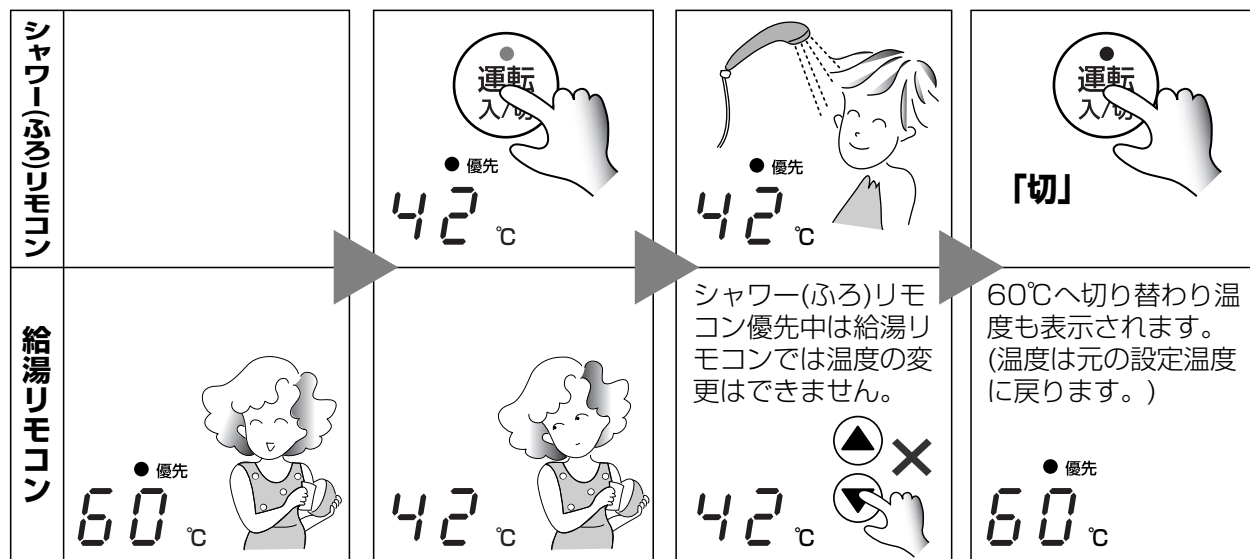
おふろではいつも快適な入浴が楽しめるように、シャワーリモコン（ふろリモコン）優先中は給湯リモコンでは勝手に温度が変えられないしくみになっています。

シャワー(ふろ)リモコン

給湯リモコン

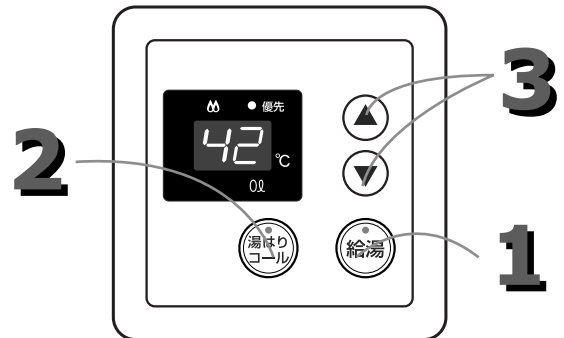
シャワー(ふろ)リモコン優先中は給湯リモコンでは温度の変更はできません。

「切」

60℃へ切り替わり温度も表示されます。(温度は元の設定温度に戻ります。)

湯はりコールの使いかた

湯はりコールはお知らせ機能だけで給湯を自動停止することはできません。

ここではMCS-101のリモコンを使って説明しています。

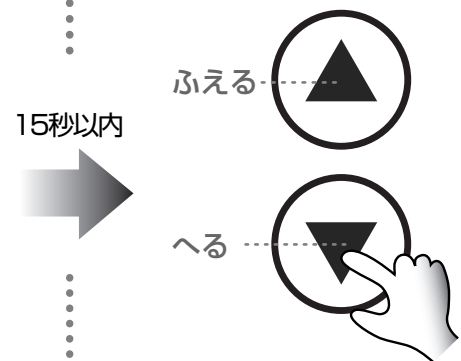
湯はりコールとは、給湯栓から出たお湯の量が設定した湯量に達したときに、“ピピピッ”とブザーでお知らせする機能です。

1 「給湯」（または「運転」）スイッチを押す

2 「湯はりコール」スイッチを押す

●ピッと鳴り、初期設定の180ℓまたは前回使用時に設定の湯量が表示されます。
●湯量の表示は10ℓ単位です。

前回設定の湯量

15秒以内

3 湯量を調節する

●10～500ℓまで10ℓづつ調節できます。押し続けると連続的に変わります。
●初期設定の180ℓは1.5人用の一般的な浴槽を基準にしています。

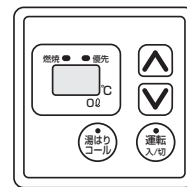
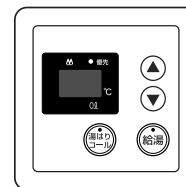
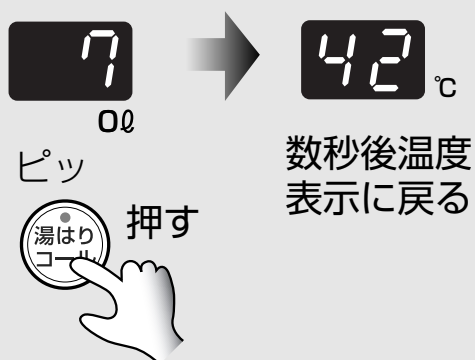
調節後の湯量

知っておいてね

●「湯はりコール」スイッチを押してから次のスイッチを押すまでが15秒以内に行われないときは、自動的に初期設定の湯量または前回使用時に設定の湯量でセットされます。
●湯はりコールはセット後1時間以内に給湯栓を開かないと自動的に取り消されます。
●湯はりコールをセット後、お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると湯はり量が設定湯量より少なくなります。

残り湯量を知りたいとき

数秒後温度
表示に戻る

押す

湯はりコールを途中で取り消すとき

表示部:温度表示

ピッ・ピッ

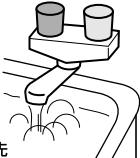
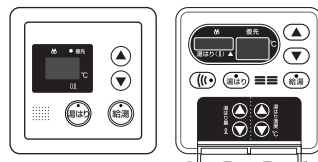
2回押す

15秒後、湯はりコールランプが点滅し、温度表示に戻る
【湯はりコールセット完了】

●すぐに湯はりコールをセットさせたい場合はもう1度「湯はりコール」スイッチを押してください。
●給湯は給湯栓の開閉で行ってください。

設定湯量に達すると、15秒間“ピピピッ”でお知らせ

●“ピピピッ”を止めるには「湯はりコール」スイッチを押してください。
●「0ℓ」と表示されます。ブザー終了後は湯はりコールランプが消灯し、温度表示に戻ります。

お湯はり をする前に

（MCS-115V, MC-115V, FC-115V, MC-117V, FC-117V, MC-115AD, FC-115ADのリモコンをお使いのかた）

お湯はりが最優先のおはなし

お湯はり中は「湯はり」が最優先されます。お湯はり中に給湯スイッチを押すと、点灯、消灯はしますが、お湯はりを継続します。
また、「湯はり温度」以外での給湯温度の変更はできません。

（例）MCS-115Vの場合

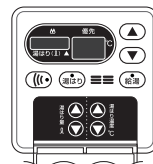
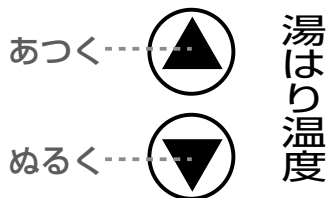
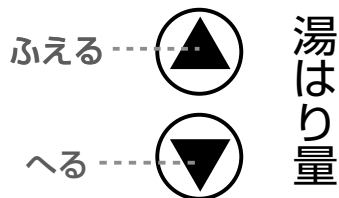
知っておいてね

- 「湯はり」ランプが点滅している間は全ての給湯栓のお湯がとまります。
- お湯はりはセット後1時間以内に給湯栓を開かないと自動的に取り消されます。
- お湯はり中にすべての給湯栓を閉めた場合、お湯はりは一時中断されますが、再び給湯栓を開くと、お湯はりは継続されます。（中断後6時間以内）
- 給湯栓を閉め忘れたまま「湯はり」スイッチを「切」にすると、「給湯」スイッチが「切」の場合は浴槽に給水され、「給湯」スイッチが「入」の場合は浴槽に給湯されます。湯はり解除時は、忘れずに給湯栓を閉めてください。

お湯はり中のお湯を自動で停止させる

（MC-115V, FC-115V, MC-117V, FC-117V, MC-115AD, FC-115AD のリモコンをお使いのかた）

1 湯はり温度を調節する

あつく
ぬるく
湯はり温度

●38℃～48℃の1℃きざみで調節できます。38℃～45℃までは、押し続けると連続して変わります。
●設定完了3秒後に消灯します。
●設定を記憶します。

前回設定の温度

2 湯はり量を調節する

ふえる
へる
湯はり量

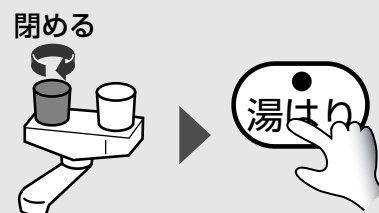
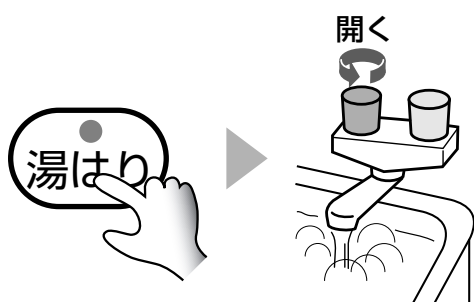
●10ℓ～500ℓまでは10ℓずつ、さらに990ℓの調節ができます。
●初期設定の180ℓは1.5人用の一般的な浴そうを基準にしています。
●設定を記憶します。

前回設定の湯量

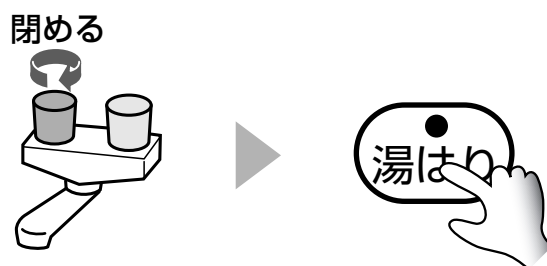
お湯はりを途中でやめたいとき

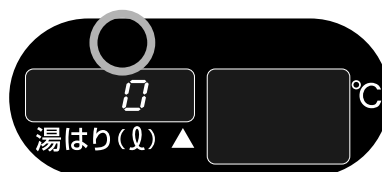
1 「湯はり」スイッチを押す

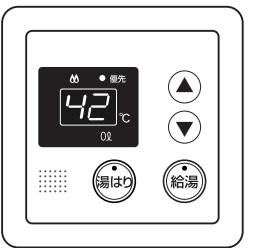
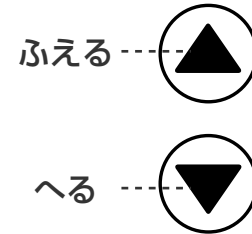
2 給湯栓をしめてから、「湯はり」スイッチを押して「切」にする

閉める

3 「湯はり」スイッチを押してから、給湯栓を開く

燃焼確認ランプ点灯

4 お湯はり終了のボイスガイドが鳴ったら、給湯栓を閉めてから「湯はり」スイッチを押して「切」にする

閉める

●お湯はりが終了すると、ボイスガイドでお知らせし、湯はりランプが点滅します。給湯栓を閉めてから湯はりスイッチを押してください。
＊お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると浴槽への湯はり量が設定湯量より少なくなります。

燃焼確認ランプ消灯

お湯はり中のお湯を自動で停止させる

（MCS-115Vのリモコンをお使いのかた）

「湯はり」スイッチを押す

5秒以内

湯はり量を調節する

ふえる
へる
●10ℓ～500ℓまでは10ℓずつ、さらに990ℓの調節ができます。
●初期設定の180ℓは1.5人用の一般的な浴そうを基準にしています。
●設定を記憶します。

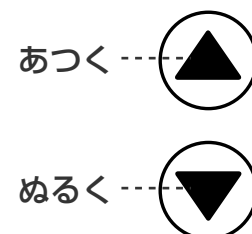
前回設定の湯量

調節後の湯量

5秒後、湯はりランプが点灯し、温度表示になる

●すぐに湯はりランプを点灯させたい場合は、もう１度「湯はり」スイッチを押してください。

前回設定の温度

湯はり温度を調節する

あつく
ぬるく
●38℃～48℃の1℃きざみで調節できます。38℃～45℃までは、押し続けると連続して変わります。
●設定を記憶します。

調節後の温度

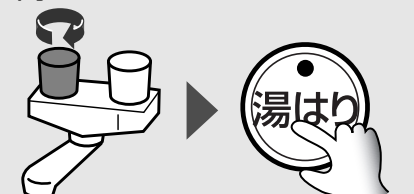
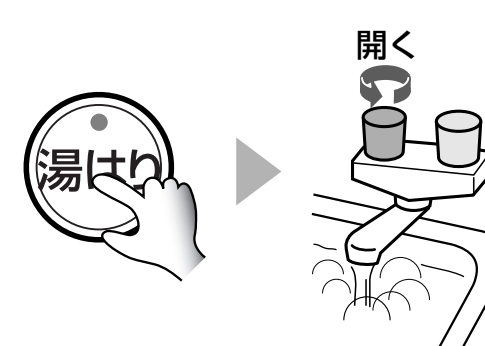
お湯はり途中で設定湯量を知りたいとき

数秒後温度表示に戻る

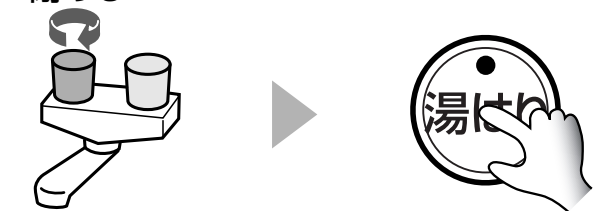
押す

お湯はりを途中でやめたいとき

1 「湯はり」スイッチを2回連続で押す

2 給湯栓を閉めてから、「湯はり」スイッチを押して「切」にする

5 「湯はり」スイッチを押してから、給湯栓を開く

燃焼確認ランプ点灯

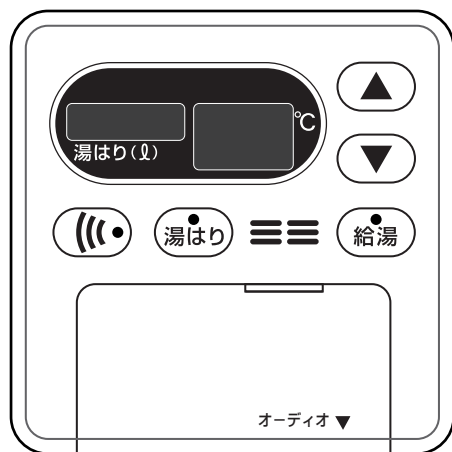
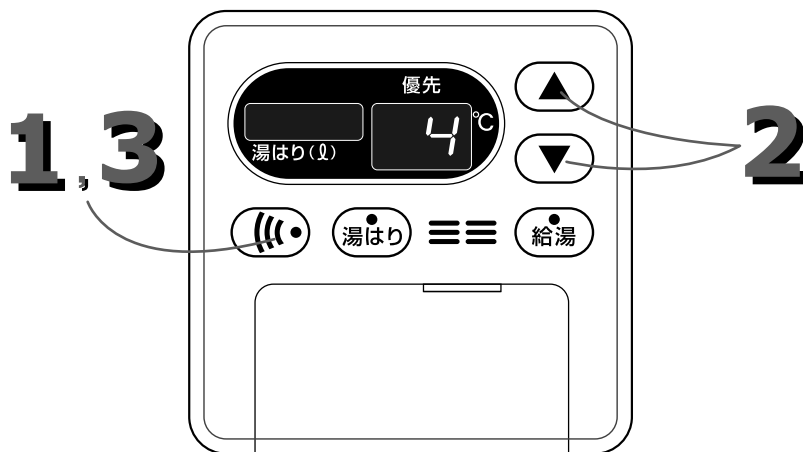
6 お湯はり終了のボイスガイドが鳴り、お湯はりが終了したら、給湯栓を閉めてから「湯はり」スイッチを押して「切」にする

●お湯はりが終了すると、ボイスガイドでお知らせし、湯はりランプが点滅します。給湯栓は「開」の状態のままなので必ず給湯栓を閉めてから湯はりスイッチを押してください。
＊お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると浴槽への湯はり量が設定湯量より少なくなります。

燃焼確認ランプ消灯

オーディオ接続機能の使いかた

Q.オーディオ機能とは？

オーディオ接続機能とは、オーディオ装置と給湯リモコンを接続コードでつなぐことで、CD,MD等の音楽やラジオをふろリモコンのスピーカーから聴くことができる機能です。

■給湯リモコン（MC-115AD）

■ふろリモコン（FC-115AD）

【準備】

●接続コードをご用意ください。
（詳しくは「接続コードについて」を参照ください。）

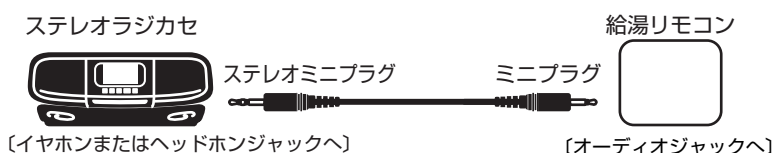
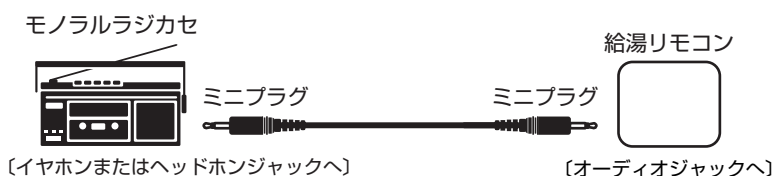
【はじめに】

①接続したオーディオ装置を音が聴ける状態（CD, MD→再生、ラジオ→ONなど）にセットし、音量を調節する。

②接続コードのミニプラグ側を給湯リモコンのオーディオジャックに、他方をオーディオ装置に接続する。

接続コードについて

給湯リモコン側には必ずミニプラグを接続ください。オーディオ側はそれぞれの使用機器にあわせてご使用ください。

【例】

※コンポ等のステレオ機器とつないだ場合でもふろリモコンで聴く場合はモノラルになります。

1 オーディオを聴く

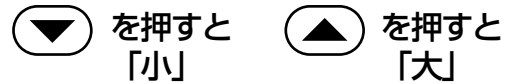
ふろリモコンの「呼び出し」スイッチを2回連続で押す。

オーディオ接続機能が「入」の間は「ランプ 2 回点滅」をくり返します。

●オーディオ接続機能が「入」になって、ふろリモコンからオーディオ装置の音声が流れます。

2 オーディオ機能の音量調節のしかた

オーディオ機能が「入」の間にふろリモコンの

 を押すと「小」 を押すと「大」

に音量が切り替わります。

0 ← 1 ← 2 ← 3 ← 4 → 5 → 6 → 7

OFF 小 ←――― 中 ―――→ 大

●ふろリモコンの給湯スイッチが「入」の間は音量は調節できません。
●音量表示は音量の切り替え作業中のみ表示されます。
●音量は0～7の数字で表示されます。（初期設定は「4」です。）
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

3 オーディオを聴くのをやめる

ふろリモコンの「呼び出し」スイッチを2回連続で押す。

「ランプ消灯」

●オーディオ接続機能が「切」になります。

入浴後に・・

接続したオーディオ装置をふろリモコン側から「切」にすることはできません。入浴後オーディオ装置をご自身で「切」にすることを忘れないでください。

知っておいてね

●オーディオ接続機能は切り忘れ防止のため､「入」にしてから 3 時間で自動的に「切」になります。（接続したオーディオ装置は自動的に「切」になりません。）

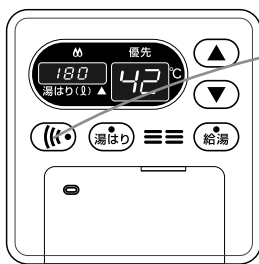
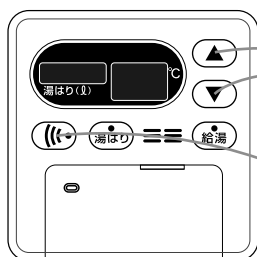
オーディオ中に通話をする

「呼び出し」スイッチを押す

●相手側のリモコンで呼び出しメロディが流れ、相手を呼び出します。
●給湯リモコン側からは「呼び出し」スイッチを押しながら通話します。「呼び出し」スイッチを離すと自動的に5秒間ふろリモコン側から通話できる状態になります。
●ふろリモコン側からはハンズフリー（両手があいた状態）で通話できます。再度、オーディオ接続機能に戻る場合には、「呼び出し」スイッチを 2 回連続で押してください。

おふろと台所の通話のしかた（MC-115AD リモコン FC-115AD のみ）

「呼び出し」スイッチを押す

●相手側のリモコンで呼び出しメロディが流れ、相手を呼び出します。
●給湯リモコン側からは「呼び出し」スイッチを押しながら通話します。
●ふろリモコン側からはハンズフリー（両手があいた状態）で通話できます。
●通話後はもう一度「呼び出し」スイッチを押して「切」にします。相手側のリモコンも連動します。

知っておいてね

●「呼び出し」スイッチを「入」にしてから1時間で自動的に「切」になります。
●通話中にリモコンのスイッチを押したり、燃焼ランプが点灯したとき、音声が途切れることがありますが異常ではありません。

通話の音量調節のしかた

はじめに
ふろリモコン、給湯リモコンどちらも「切」にする

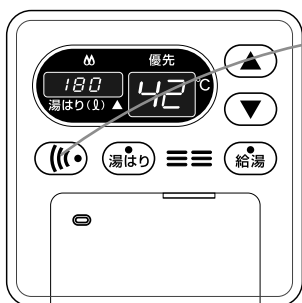
1 を押す

2 ▼を押すと「小」　▲を押すと「大」に音量が切り変わります。

（初期設定は「大」です。）

知っておいてね

●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

呼び出すには（MC-115V, FC-115V　リモコン MC-117V, FC-117V　のみ）

リモコンのブザーを鳴らして人を呼び出せます。

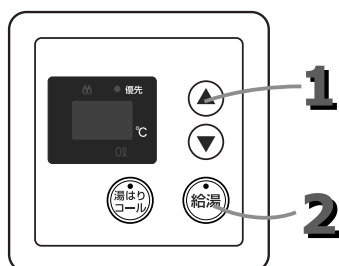
「呼び出し」スイッチを押す

●相手側のリモコンで呼び出しメロディーが流れます。

操作確認音の音量調節のしかた

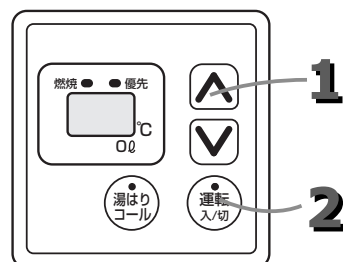
知っておいてね

●操作はそれぞれのリモコンで行ってください。両方同時には変わりません。
●停電したり、電源プラグが抜けた後は、初期設定に戻ります。

MCS-101をお使いのかた

はじめに
リモコンを「切」にする

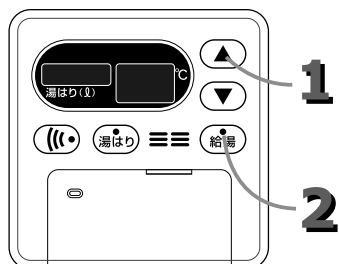
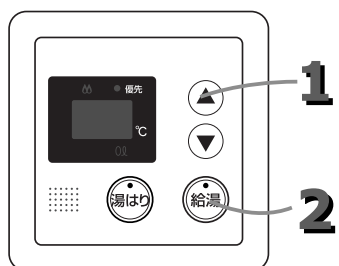
1 ▲ **を押しながら、2** 給湯 **を押す**

操作するたびに、鳴る・鳴らないの設定が切り替わります。初期設定は「鳴る」に設定されています。

MC-101, SC-101, MC-117, SC-117 をお使いのかた

はじめに
運転スイッチを「切」（ランプ消灯）にしておく

1 ∧ **を押しながら、2** 運転 入/切 **を押す**

操作するたびに、鳴る・鳴らないの設定が切り替わります。初期設定は「鳴る」に設定されています。

MCS-115V, MC-115V, FC-115V, MC-117V, FC-117V, MC-115AD, FC-115ADをお使いのかた

はじめに
ふろリモコン、給湯リモコンどちらも「切」にする

1 ▲ **を押しながら、2** 給湯 **を押す**

1、**2** を繰り返すたびに
ボイスガイド「オフ」＋操作確認音「大」
→ボイスガイド「小」＋操作確認音「小」
→ボイスガイド「オフ」＋操作確認音「小」
→ボイスガイド「オフ」＋操作確認音「オフ」
→ボイスガイド「大」＋操作確認音「大」
→ボイスガイド「オフ」＋操作確認音「大」
→ボイスガイド「中」＋操作確認音「中」
→ボイスガイド「オフ」＋操作確認音「大」…
と切り替わります。（初期設定は、
ボイスガイド「中」＋操作確認音「中」です。）

点検とお手入れ

おねがい

●機器を安全・快適にお使いいただくために日常の点検・お手入れは必ず行ってください。そのときは、機器本体とリモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
●故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
●「故障かな？と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店にご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
●お手入れの際、指先には十分注意してください。

点検のポイント

＊点検は常時行ってください。

●機器のまわりや排気口のそばに燃えやすいもはありませんか？
●機器や配管からのガス漏れ・水漏れはありませんか？
●外観に異常はありませんか？
●運転中に異常音はありませんか？
●給気口・排気口（給排気筒トップ）をふさいでいませんか？

お手入れ

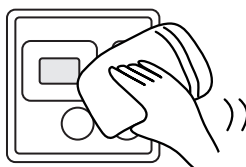
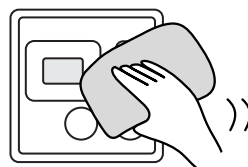
おねがい

●機器本体をたわしやブラシなどでこすらないでください。
●中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉、スチールウールなどは使用しないでください。表面がキズつきます。また、レンジクリーナーなどのアルカリ性洗剤は塗装がはがれるおそれがあります。
●機器外装のお手入れの際、銘板と本体表示をはがさないでください。
●リモコンに水（湯）を直接かけて洗わないでください。
●点検・お手入れ後は、給湯栓を開け機器が正常に作動するかどうか確認してください。

■ 機器外装・リモコン

水気をしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で洗剤分と水気を十分ふき取る

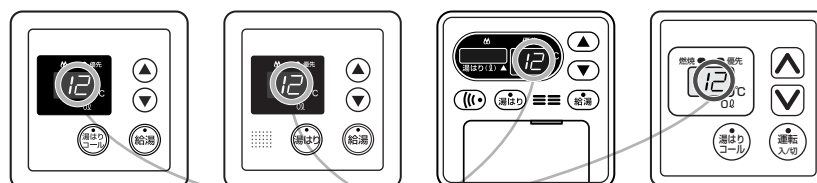
①水気をしぼった布に台所用中性洗剤を含ませ、

②軽くふき、

③乾いた布で洗剤分と水気を十分ふきとります。

定期点検のおすすめ

機器のご使用に支障がなくても、2年に1度程度（使用頻度の高い場合には1年に2回程度）にバーナや各部の作動が“正常”かどうか点検をするのが安全で長期間使用していただくための“ひけつ”です。お買い上げの販売店かお近くの当社までご相談のうえお申しつけください。（有料）

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、リモコンにエラーコードが表示されていないか確認します。給湯栓は開いたままにしておきます。

●エラーコードの表示位置

■エラーコード「88」が表示された場合（設定温度と交互に表示されます。）

ご使用機器の点検実施時期です。お近くの当社（33ページ参照）までご連絡ください。
点検に関するご案内をさせていただきます。

エラーコードが表示されたら

1.給湯栓を閉め、全てのリモコンを「切」にする。
　5分程待ってから、再び、リモコンの「給湯」（または「運転」）スイッチを「入」にし、給湯栓を開ける。
2.それでもなおエラーコードが表示される場合、
　●下記以外のエラーコードが表示される場合は3へ
　●下記のエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、リモコンを「切」にする。下記の処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は3へ
3.給湯栓を閉め、リモコンを「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店かお近くの当社まで点検・修理を依頼する。
　このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

エラーコード	原　　因	処　　置
11 **12**	ガス栓の開きが不十分	ガス栓を全開にする
15 **16**	給湯栓を絞りすぎている	給湯栓をたくさん開けて湯量を増やす
	水抜き後の再使用時の順番が違っている	「凍結を防ぐには」の水抜き後の使いかた参照
05 または 10 燃焼開始時に「ピッ・ピッ・ピッ」とブザーが鳴ります。	機器の給気口（給排気トップ）をふさいでいる	機器の給気口（給排気トップ）をふさいでいるものを取り除く
13 または 99	修理が必要ですのでお買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。	

不完全燃焼防止装置付機器の場合

■不完全燃焼防止装置が働いたとき

機器が不完全燃焼するような状態になると、正常な燃焼を保つように不完全燃焼防止装置が働きます。
正常な燃焼が保てなくなると、自動的にガスを止め燃焼を停止します。
次のエラーコードが表示されたら、機器が使用できる場合でも給湯栓を閉め、すみやかに処置してください。

給湯温度表示の時でも燃焼ランプと運転ランプが同時点滅しているときは、不完全燃焼するような状態が起きはじめています。上記エラーコード「05」の処置をしてください。

故障かな？と思ったら

エラーが表示されていない場合

エラーが表示されていない場合は、下記の症状に応じた処置を行ってください。
下記のことをお調べになってもなお不具合のある場合やおわかりにならない場合は、お買い上げの販売店かお近くの当社までお問い合わせください。

現象	原因と処置
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●給水元栓が十分開いていない ●給湯栓をしぼりすぎている（流水量が少なくなると消火します。） ●凍結している ●給湯スイッチが「入」になっていない ●断水・停電しているまたは電源プラグが抜けている ●使い始めは給湯管内の冷水を追い出すまでしばらくお湯が出てくるまでに時間がかかることがあります。
家中のお湯が出ない	●「湯はり」ランプが点滅している間は全ての給湯栓のお湯が止まります。
途中で水になる	●給水元栓が十分開いていない ●停電している、または電源プラグが抜けている ●給湯栓をしぼりすぎている（流水量が少なくなると消火します。）
高温のお湯が出ない	●湯温調節が適切でない ●給湯栓が全開になっている ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。 ●混合栓を使用している場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。
低温のお湯が出ない	●湯温調節が適切でない ●給水元栓が十分開いていない ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。 ●水温が高い夏期などに少量お湯を得ようとすると、湯温が高くなることがあります。給湯栓をもっと開けて湯量を多くすれば、湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡とにた現象であり、汚濁とは違い無害です。
水抜き栓兼安全弁からときどき水滴が落ちる	●機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きにより、水抜き栓からときどき水が落ちることがありますが水漏れではありません。 （機器下面がぬれて困るようなときは、ビニールホース等で支障のないところへ排水してください。尚、ホースは中に水が溜まらないように取り付けてください。
排気口から白い煙のようなものが出る	●外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
給湯停止後もファンが回転している	●再使用時にお湯を早く出すためです。しばらくすると停止します。 ●1日1回程度の割合で、通常よりも少し大きな音がすることがありますが故障ではありません。
浴槽のお湯が少ない	●お湯はり中に他の給湯栓でお湯を使用すると浴槽への湯はり量が設定湯量より少なくなります。

エラーが表示されていない場合

現象	原因と処置
オーディオ機能の音が出ない ※MC-115AD, リモコンを FC-115AD お使いのかた	●停電している、または電源プラグが抜けている ●オーディオ装置のヘッドホンまたはイヤホンの接続プラグが確実に接続されていない ●給湯リモコンのオーディオジャックがプラグに確実に接続されていない ●ふろリモコンの音量設定が「0」になっている ●オーディオ機能が「入」になってない
オーディオ機能の音が割れる, 雑音が入る ※MC-115AD, リモコンを FC-115AD お使いのかた	●オーディオ装置の受信状態が悪い（オーディオ装置側の取扱説明書を参照） ●給湯器本体の近くにエアコン、電子レンジ、洗濯機などの強電波発生装置がある ●音量をあげすぎている

凍結を防ぐには

冬期には給水、給湯配管が凍結し、破損事故がおこることがあります。
このような事故を防止するため、次のような処置をおとりください。

① 凍結予防ヒータによる方法

この機器には、凍結予防ヒータが組み込まれていますので、
機器本体に電気が供給されている限り、無風状態でマイナス20℃
程度まで機器内の凍結を予防できます。
外気温が下がると凍結予防ヒータが自動的に機器内を保温します。

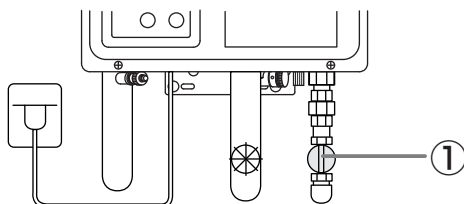
凍結予防のため、電源プラグは抜かないでください。

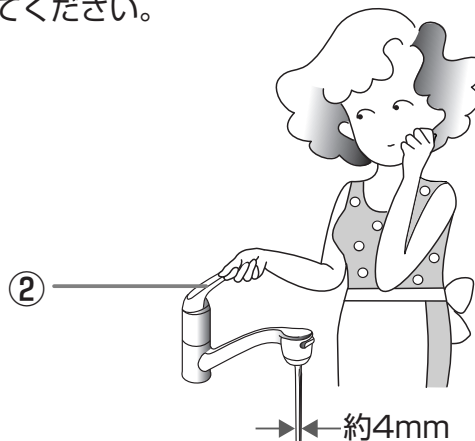
おねがい

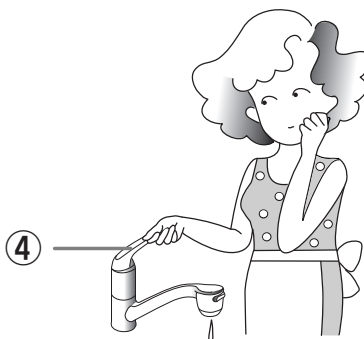
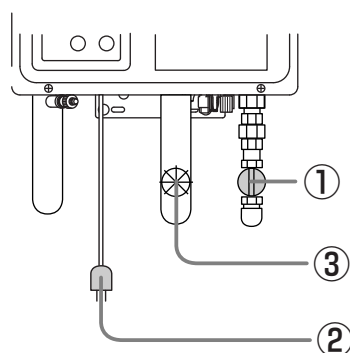
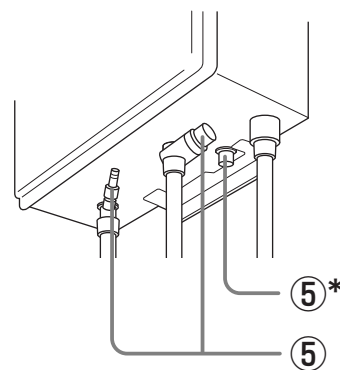
- ●機器内は保温しますが、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので配管の水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。
- ●凍結予防ヒータが有効なのは無風状態で外気温マイナス20℃程度までですので、**気象状況により「②通水による方法」「③機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。**

② 通水による方法

機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結防止もできます。

リモコンを「切」にしておいてください。
①ガス栓を閉めます。
②給湯栓を少し開けておきます。
　流量が不安定になるため、30分後にもう一度流量を確認してください。

おねがい

寒い日は多めに水を流してください。

③ 機器内の水を抜く方法

リモコンを「切」にしておいてください。
①ガス栓を閉めます。
②電源プラグを抜きます。
③給水元栓を閉めます。（不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にします。）
④全ての給湯栓を開けます。
⑤水抜き栓をはずします。
（品名の末尾がLXT, LXTL, LXTS, LXTSL, QLXTSL（ (例)PH-16 LXT ）になっている機器の場合は
⑤* の水抜き栓もはずしてください。）
再使用するまでこのままにしておきます。

水抜き後の使いかた

①水抜き栓を閉めます。
②給水元栓（または不凍栓）を開け、給湯栓から水が出るのを確かめてから、いったん水を止めます。
水が出ない場合は、電源プラグを差し込み、約30分後にもう一度②の操作を繰り返してください。
③11ページの「準備と確認」から始めます。

＊再使用時にまず、上記の操作を行わないとエラーになる場合があります。

おねがい

配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

凍結したときは

●凍結すると、機器の破損・異常を起こし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
●凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認してから、お使いください。
●凍結防止せずに凍結して、機器を損傷されたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

仕　様

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品　名	PH−16QLXTS PH−16QLXTSL	PH−20QLXTS PH−20QLXTSL	PH−16SXT PH−16SXTL PH−16LXT PH−16LXTL	PH−20SXT PH−20SXTL PH−20LXT PH−20LXTL
型式名	別表「型式名」欄参照			
器具名	別表「器具名」欄参照			
接続(給水・給湯)	給湯・給水：R1/2(15A)　ガス：別表「ガス接続」欄参照			
電　源	消費電力：別表「消費電力」欄参照　待機時消費電力：3.0W（MC-101）			
	使用電源：AC100V（50Hz/60Hz）　電源コード長さ:1.5m　凍結予防ヒータ…68W			
種　類	給湯方式：先止め式　給排気方式：強制給排気式			
設置方式	屋内壁掛式			
本体（器体）寸法	高さ585×幅350×奥行185mm			
質量（本体）	17kg			
点火方式	放電点火式			
給湯温度制御	比例制御			
最低作動水量	2.5L/分			
水　圧	使用水圧：80～1000kPa（0.8～10.0kg/cm^2）　最低作動水圧：10kPa（0.1kg/cm^2）			
安全装置	フレームロッド式立消え安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置・凍結予防装置（電気ヒータ）・不完全燃焼防止装置		フレームロッド式立消え安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置・凍結予防装置（電気ヒータ）	

＊待機時消費電力は、（　）内の標準リモコンを使用した場合の測定値です。

使用ガス（ガスグループ）		型式名	器具名	ガス消費量 kW	出湯量（最大）ℓ /分 25℃上昇	出湯量（最大）ℓ /分 40℃上昇	出湯量（最大）ℓ /分 55℃上昇	消費電力 (50Hz/60Hz)	ガス接続
都市ガス用	12A	Q−3−2	PH−16SXT−1	32.6	(14.9)	9.3	6.7	46W	R1/2 (15A)
			PH−16LXT−1						
			PH−16QLXTS−1						
		Q−3−3	PH−16LXT−1(30)					39W	
	13A	Q−3−2	PH−16SXT−1	34.9	(16.0)	10.0	7.2	46W	
			PH−16LXT−1						
			PH−16QLXTS−1						
		Q−3−3	PH−16LXT−1(30)					39W	
LPガス用		Q−3−1	PH−16SXT−1	34.9	(16.0)	10.0	7.2	42W	R1/2 (15A)
			PH−16LXT−1						
			PH−16QLXTS−1						
		Q−3−3	PH−16LXT−1(30)					39W	

使用ガス（ガスグループ）		型式名	器具名	ガス消費量 kW	出湯量（最大）ℓ /分			消費電力 (50Hz/60Hz)	ガス接続
					25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇		
都市ガス用	12A	Q−4−2	PH−20SXT−1	39.7	(18.6)	11.6	8.5	58W	R1/2 (15A)
			PH−20LXT−1						
			PH−20QLXTS−1						
		Q−4−3	PH−20LXT−1(30)					47W	
	13A	Q−4−2	PH−20SXT−1	42.5	(20.0)	12.5	9.1	58W	
			PH−20LXT−1						
			PH−20QLXTS−1						
		Q−4−3	PH−20LXT−1(30)					47W	
LPガス用		Q−4−1	PH−20SXT−1	42.5	(20.0)	12.5	9.1	52W	R1/2 (15A)
			PH−20LXT−1						
			PH−20QLXTS−1						
		Q−4−3	PH−20LXT−1(30)					47W	

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しないとき）

水を抜きます。(「凍結を防ぐには」参照)

アフターサービスについて

点検・修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。

尚、修理のご依頼は、【電話】0120-193-860 でも24時間受付いたしますので、ご利用ください。

☆アフターサービスをお申しつけのときはお知らせください。

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 現象(できるだけ詳しく…エラーコード等)
- 器具名(銘板表示のもの)
- ご購入日・ガス種
- 道順

受付時間	平日　9：00～18：30 土曜日・日曜日・祝日　9：00～17：00（修理受付のみ）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	〒001-0033 札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスコールセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
関　東サービスコールセンター	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-1-6藤枝ビル6F	03-3986-0860	03-3986-0895
中日本サービスコールセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5188	052-824-5670
近　畿サービスコールセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2F	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスコールセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南２-９-１３	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品は製造打ち切り後最低7年間（BL認定部品は10年間）保有しております。
長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。

BL認定部品について

優良住宅部品（BL認定部品）は、住宅に設置する場所（適用範囲）を設定して認定基準などが規定されています。そのため、BL認定部品を適用範囲外で使用される場合には、優良な部品としての性能が発揮できないことがあるとともに、優良住宅部品認定制度に基づく優良住宅部品（BL認定部品）の適用が受けられなくなります。

ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、お買い上げの販売店かお近くの当社までご連絡ください。
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。
銘板の読みかたは、
［例］03（製造年）・09（製造月）-123456（製造番号）です。

その他ご不明の点は

お買い上げの販売店かお近くのパロマまたは「お客様相談室」までご連絡ください。

パロマお客様相談室	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	TEL 052-824-5145

保 証 書

品　　名	ガス瞬間給湯器

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置·使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《 無料修理規定 》

1. 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置·使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
   (ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
   (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
   (ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　　　　様
	ご住所　〒
	お電話
販売店	店名
	住所
	電話番号

お買い上げ日	年　　月　　日
保証期間	お買い上げ日から1年間

BL認定部品の保証期間	本体	お買い上げ日から2年間
	熱交換器	お買い上げ日から3年間

〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052（824）5145

修 理 記 録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。